

雜 錄

愛知縣保育大會

愛知縣保育會

大正十五年九月三日より五日まで、我愛知縣教育會が主催となつて、縣下幼稚園關係者の爲に、保育講習會并に保育大會が開權されました。

講習會にあてられた三日四日は恰も大暴風雨の日であつたにも拘はらず、縣下四十餘の幼稚園關係者は、矢玉の雨を冒して、會場である女子師範學校へと集り、午前九時會は開かれました。

先づ縣知事代理として御臨場になつた、教育課長が「幼児教育の人生最も必要なることや、我國の幼児教育が諸外國に劣つてゐるが茲に早くも目醒た當局が、幼稚園の獨立を計り法令の改制にまで速進したといふ、この目出度い今日を祝ふと同

時に、保姆諸氏の自覺云々と、懇篤なる訓辭がありました。

これについて、奈良女子高等師範學校附屬幼稚園主任會澤タカエ先生は、別室に遊ばせてあつた年少幼児二十五六名について、談話の實地保育を試みられました、題目は「豆の兵隊さん」といふので、斯道に造詣深い先生は、幼児の心理を洞察され、少しの隙もなく流暢に面白く話されました。

休憩三十分後、同幼児に貼紙をさせられました之は製作活動として、大した意味もない様に思はれましたが、結果そのものが、活動性を帯び、玩具として、研究資料として、實に價値のあるものでした。其後約一時間に互つてお話の仕方について講演されました。

午後は愛知縣兒童研究所丸山主事の、メンタルテストについて熱心な、講義がありました。

翌四日年長兒二十七名に、蛇を愛して恩に酬ひ

られたといふ、動物愛憐の徳目をもつた長いくお話をせられた、後リノリユームの彫刻遊びをさせて下さいました、午後は丸山先生の續講で四時終了しましたが、兩日に於て益すること多大でありました。

五日この日大會に先つて、本年度の縣保育總會が開かれました、會長の挨拶、事務報告役員補缺選舉等があり、直に大會に移りました。本會の協議題として提出されてゐた、「觀察の施設方案如何」に對して、名古屋市保育會及丹羽郡犬山幼稚園より、それ／＼發表があり、その結果細案などは、改めて研究することになりました。

午前十時半より、東京女子高等師範學校教授倉橋惣三先生の、「新幼稚園令について」蘊蓄なる御講演がありました。

その内容の重なるものは

1, 幼稚園の獨立

2, 保姆の資格待遇の向上

3, 現代社會に適應したる内容の改善

以上の外幼稚園が、社會的職能に傾注して來た事や又、保育の目的及保育事項について保姆の蒙を啓かれ、僅か二時間餘に深遠なる御講演を承つた事に、一同ふかく感謝いたしましたのであります。

午後は各國有志の感想談や、研究發表の有益なものがあり、三時閉會いたしました。

愛知縣保育會

蟲 おひ

よ し こ

折から咲き亂れて居る萩の根もと深く這ひこむ
三四人。「それ、そこに」「ほら、つかまつた」「あ
つ、とんじまつた」とよろこびの聲、惜しむ心と
り／＼に興する蟲おひのひととき。

いつの時でも、雑草にまづしい幼稚園の庭から

こゝ本校のひろくした青草の庭に来るのを何よりのよろこびとして居る。大きな蟻一つ、とらへられじとバツと大きくとべば、大人まで幼き人々と共に追ふて行く、ソーツとくと云へば七八人の子がこゝろもち前かぐみにぬき足さし足して又も追ひ行く。

漸くにしてとり得たこほろぎを、玉むしを、てんとむしを、ばつたを、持つて來た古状袋に大切にしまひ込む。蟲もかわいそうぢやないかとふと



氣はついたが、日ならずしてやがて露のいのち消えゆく果敢なき蟲のさだめ、この、いつはりなき幼きものにかくも愛せらるゝは悲しみの中のものよ。こびともいへよう。さうだ、心ゆくばかり秋を楽しみて居よ、とほるかによき音をよろこぶは、大人の心もち、何事もわれに結びつけねばおかぬ幼きものには我がものとせではやまぬも、愛なればこそ、いとほしめばこそ、ではあるまいか。